

小牧市における自殺死亡率の推移

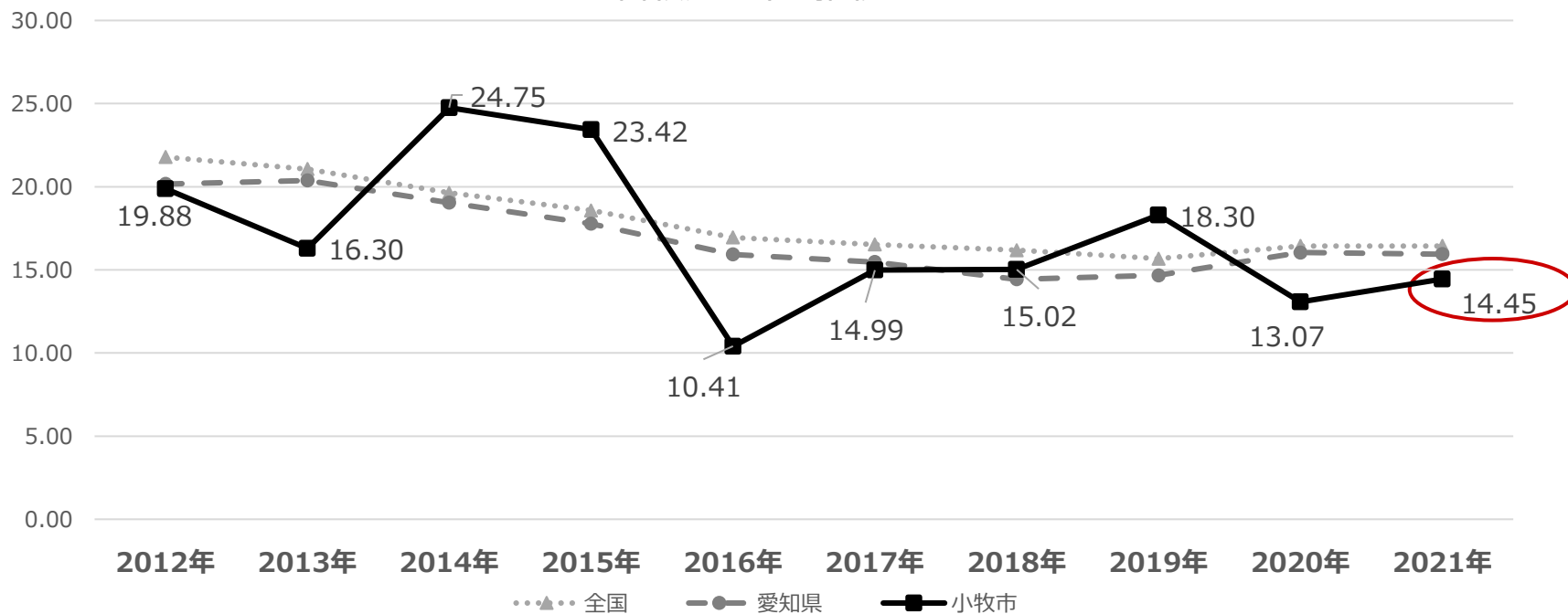
資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

単位：人口10万対

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
全国	21.78	21.06	19.63	18.57	16.95	16.52	16.18	15.67	16.44	16.44
愛知県	20.16	20.37	19.04	17.77	15.93	15.47	14.43	14.67	16.04	15.94
小牧市	19.88	16.30	24.75	23.42	10.41	14.99	15.02	18.30	13.07	14.45

%

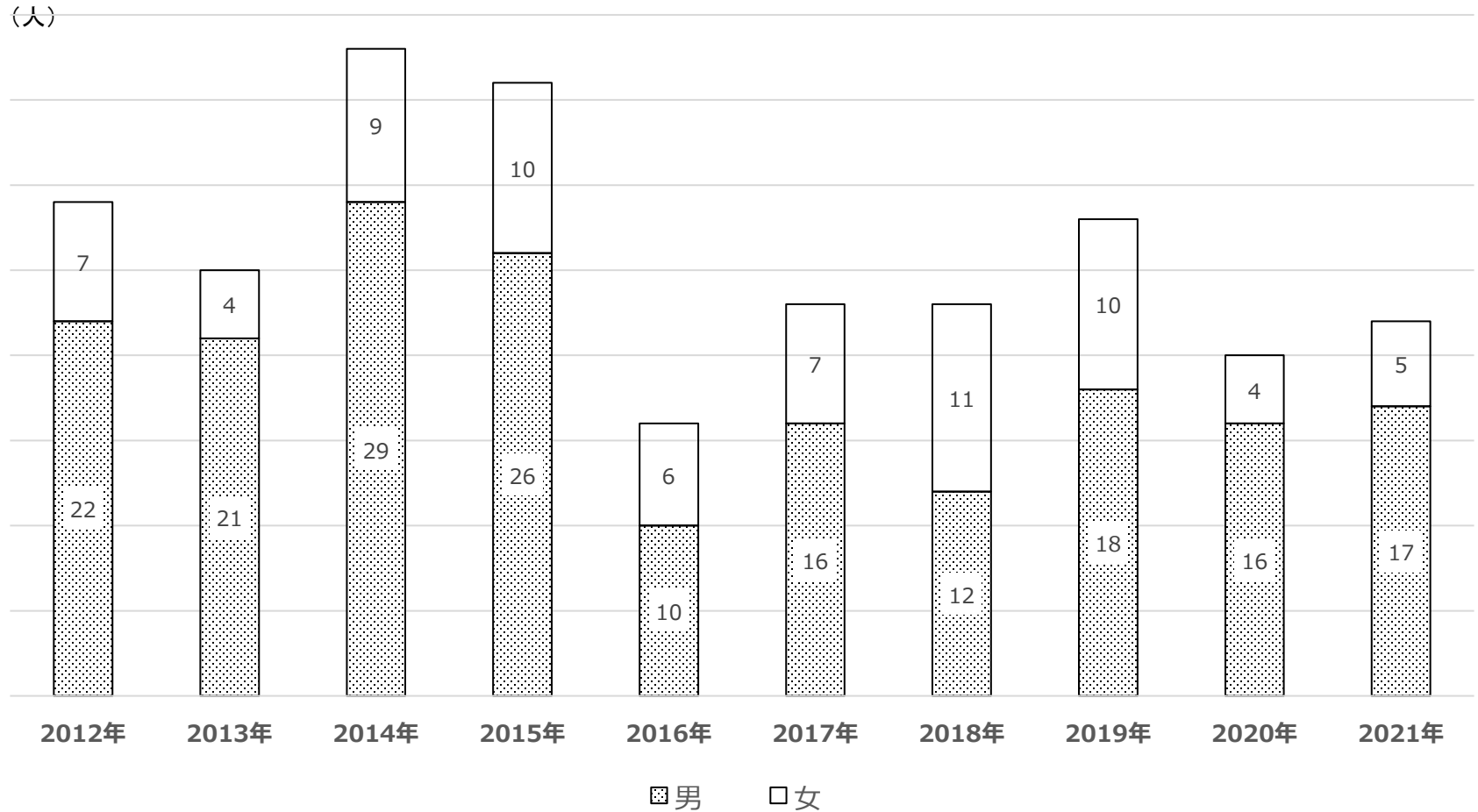
自殺死亡率の推移



小牧市の自殺者数

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」
(市町村・自殺日・住居地)より

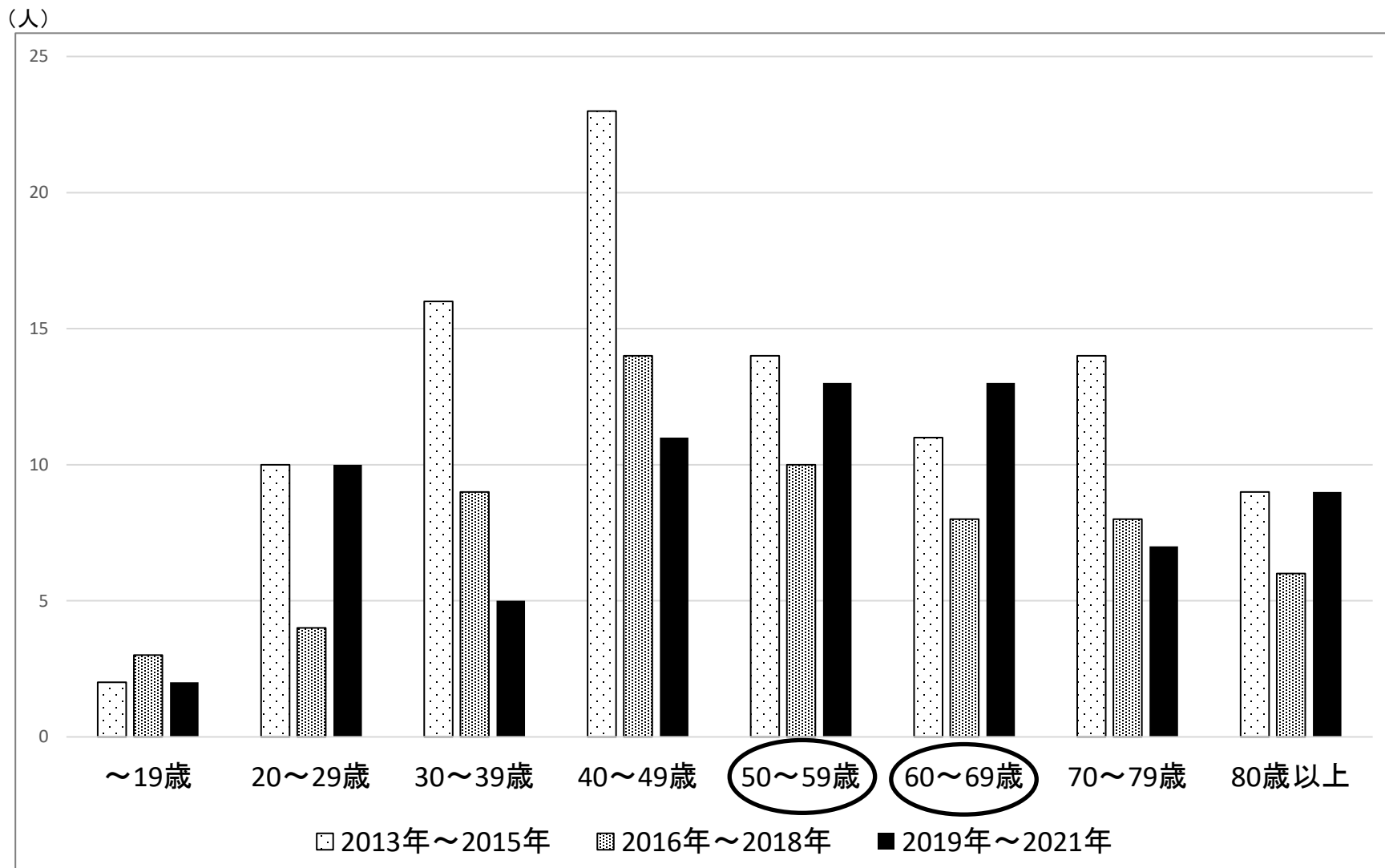
男女別自殺者数の推移



- 自殺者数は年によってバラつきがある。
- 男性の自殺者は女性より多い。男性は2015年の26人以降、10人台で推移している。

年代別自殺者の状況

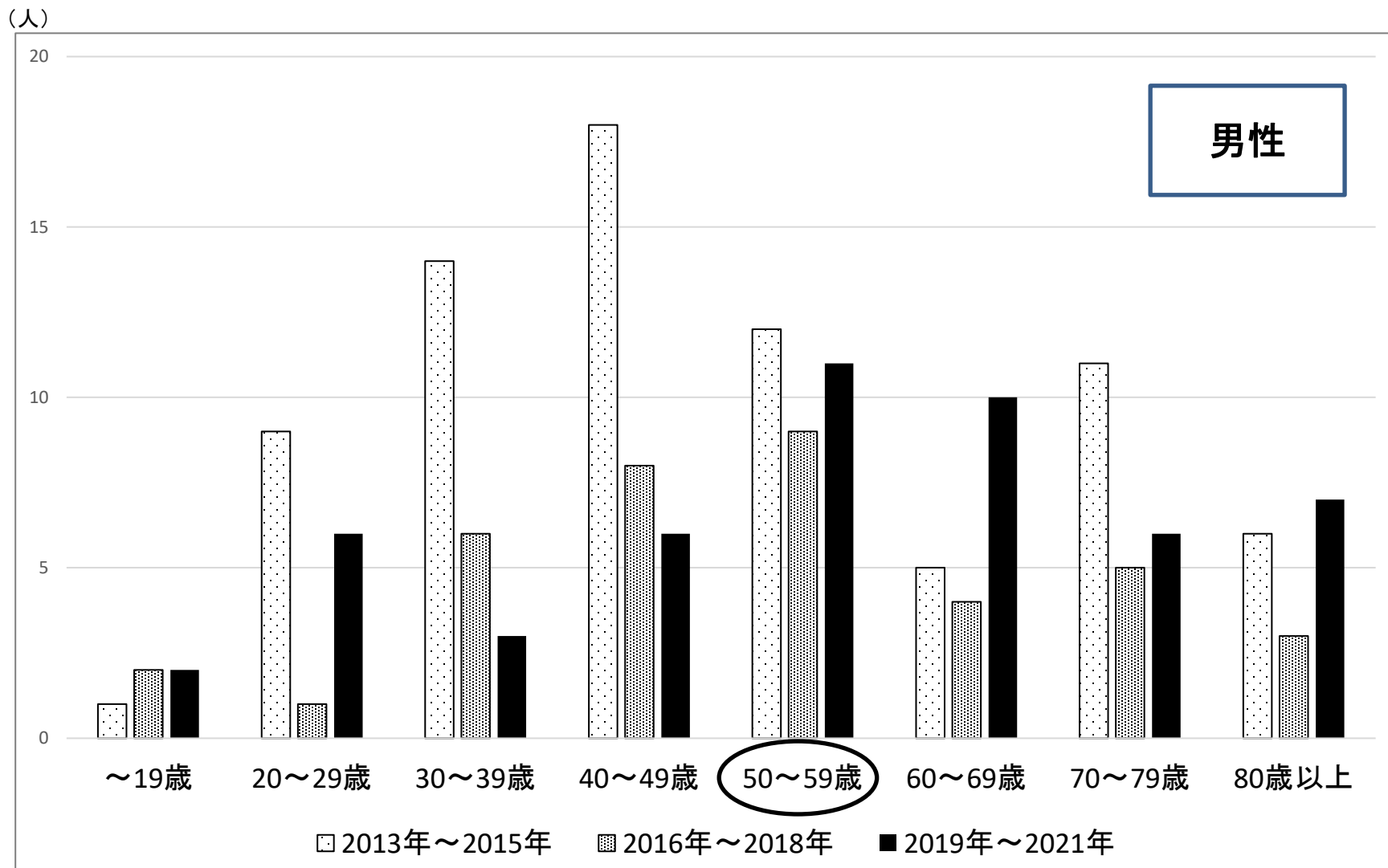
資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」
(市町村・自殺日・住居地)より



●年代別で見ると、直近では50代、60代の自殺者数の割合が高くなっている。

年代別自殺者の状況

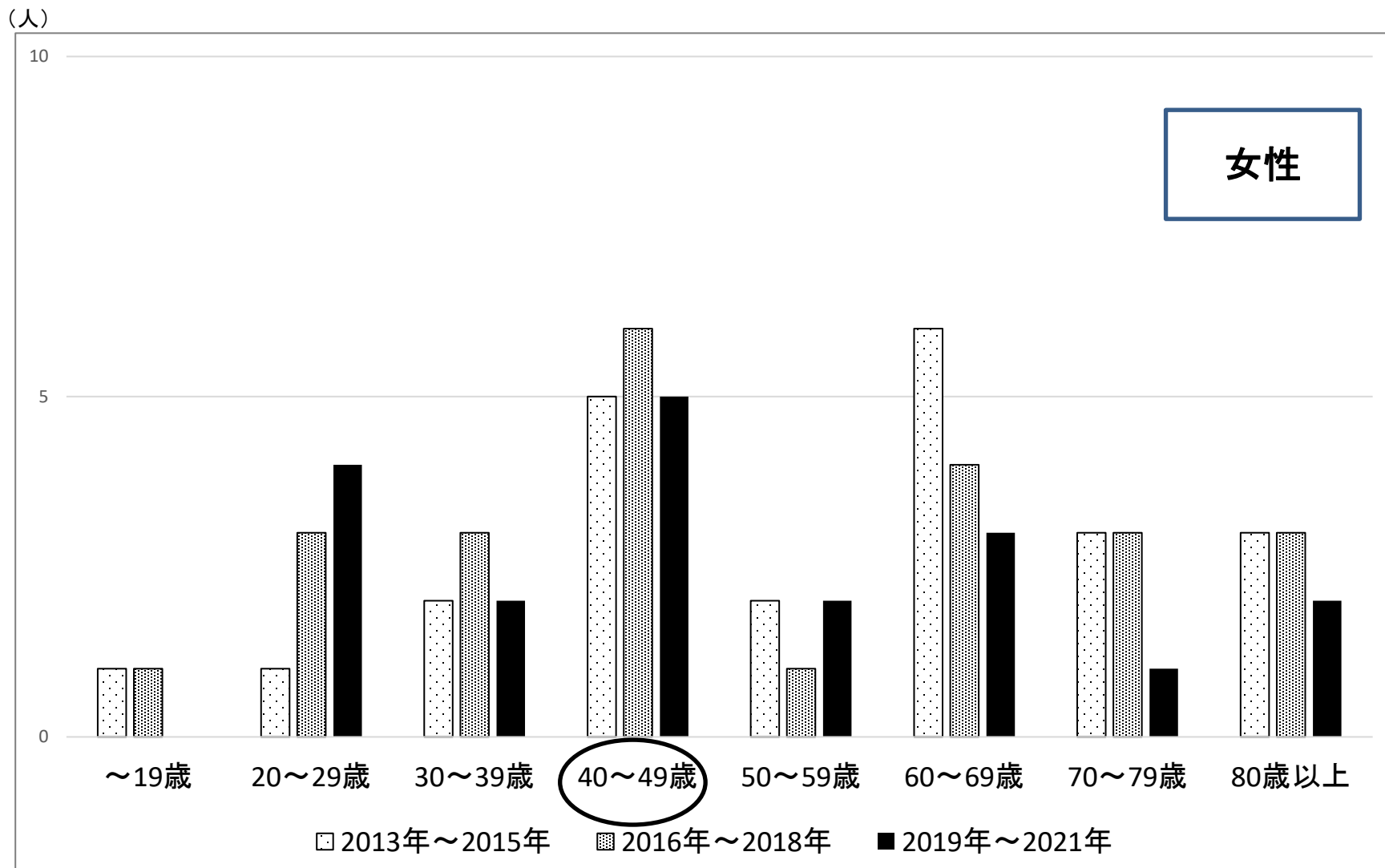
資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」
(市町村・自殺日・住居地)より



●年代別で見ると、直近では50代の自殺者数の割合が最も高くなっている。

年代別自殺者の状況

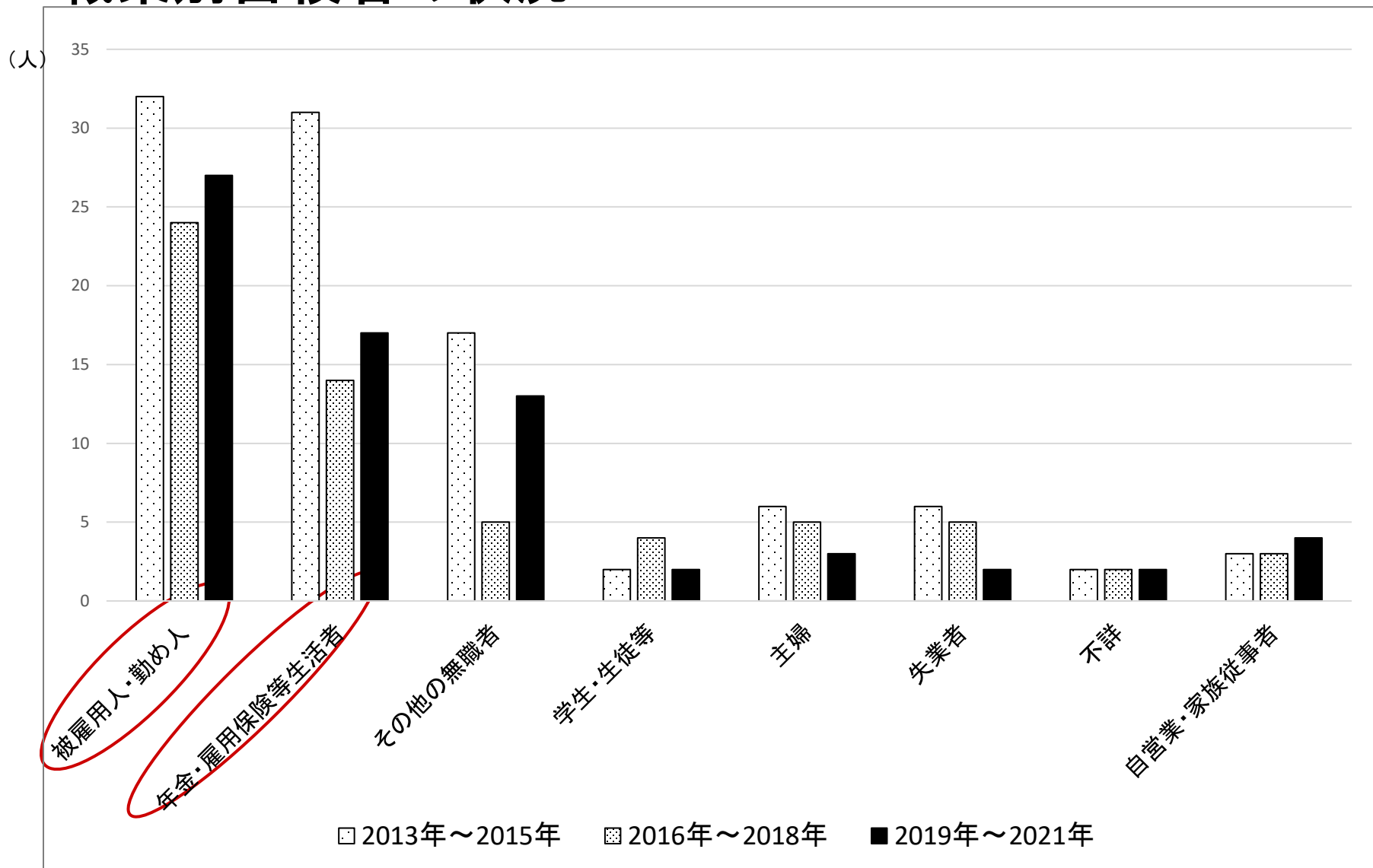
資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」
(市町村・自殺日・住居地)より



●年代別で見ると、直近では40代の自殺者数の割合が最も高くなっている。

職業別自殺者の状況

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」
(市町村・自殺日・住居地)より

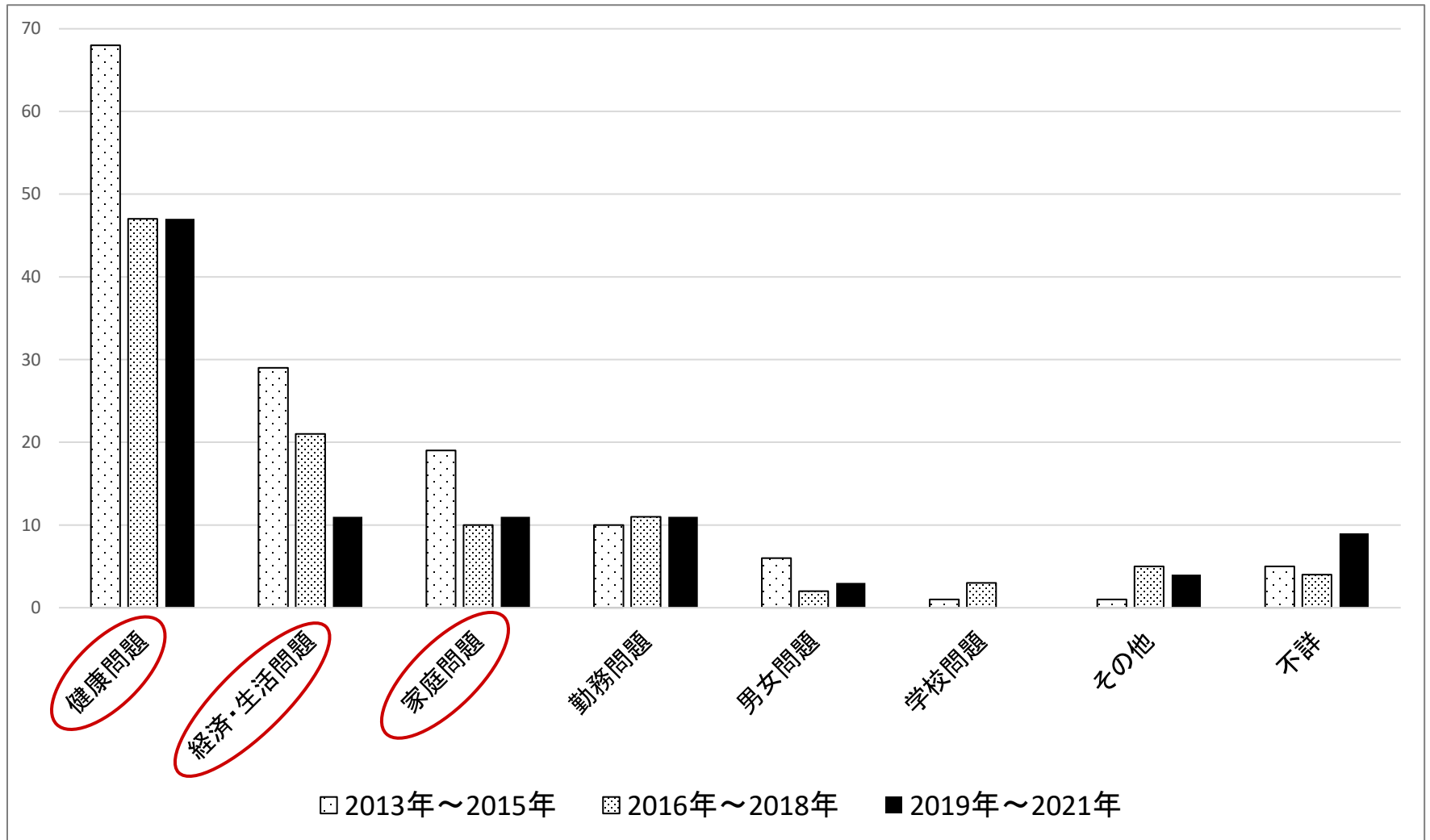


● 職業別では、「被雇用人・勤め人」や「年金・雇用保険等生活者」の割合が高く、国や県と同じ傾向である。

自殺の原因・動機

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」
(市町村・自殺日・住居地)より

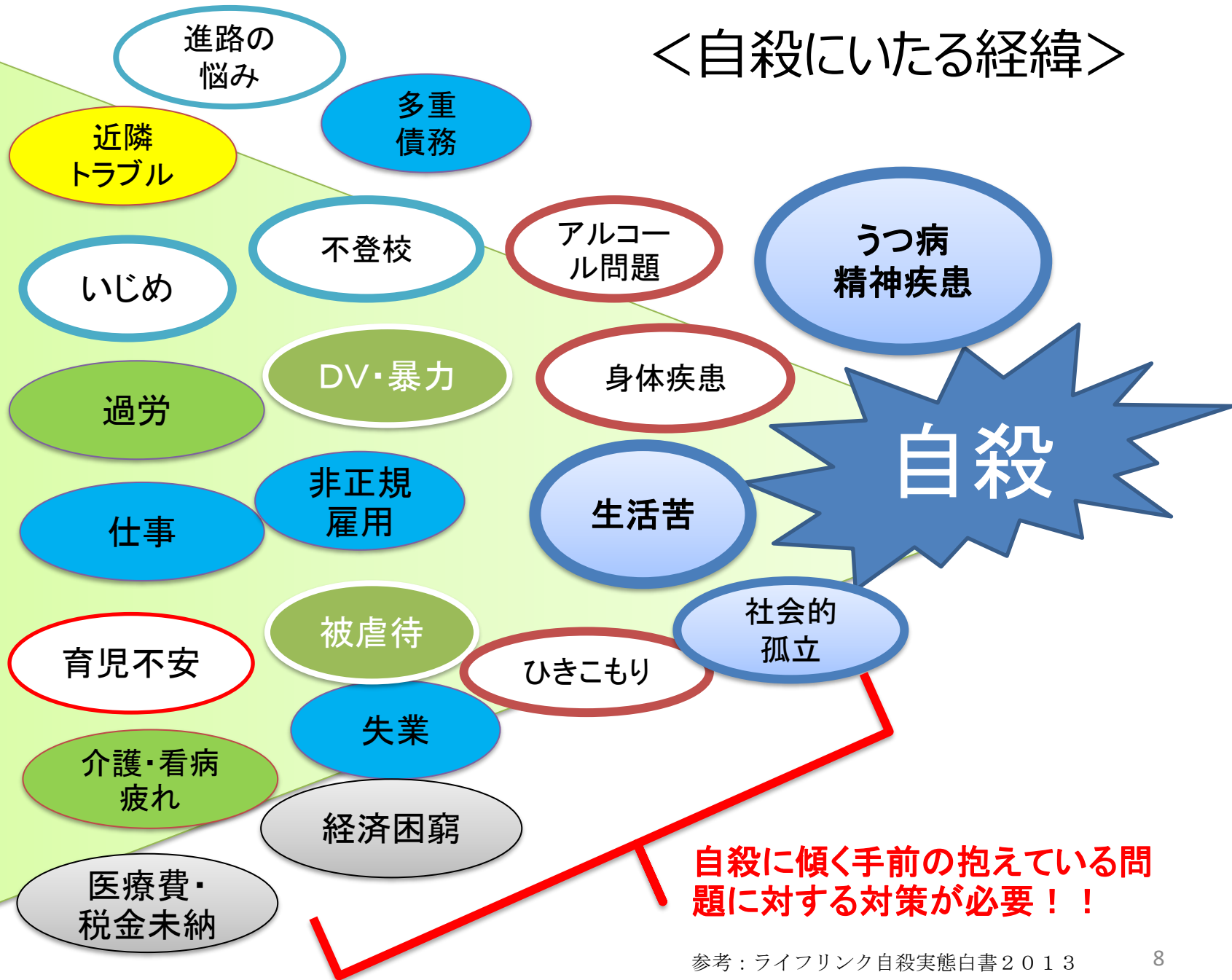
(人)



●原因・動機別で見ると、健康問題の占める割合が高く、次いで経済・生活問題、家庭問題となっている。

誰もが過「」している日常生活の場

＜自殺にいたる経緯＞



誰もが過している日常の生活の場

こどもとの遊び
方がわからない

育児不安

こどもの進路
に迷ってしまう

わけもなく涙が出る。
眠れない。
飲酒量が増えた

うつ病
精神疾患

残業多くて
休めない。

仕事

仕事がなく
収入がない。

失業

経済
困窮

生活苦

社会的
孤立

自殺

親の介護
どうしたらいいのかわ
からない。

介護・看病
疲れ

自殺に至るまでには「生きることの阻害要因」が平均4要因が相互に関係している。理由は一つではない。何気ない日常の問題が生きづらさにつながるため、本人の大変さ、生きづらさを感じた時に支援がはいることが自殺予防になる。